

公益財団法人日本郵趣協会
2014年度事業報告書（2014年4月1日～2015年3月31日）

【事業活動の総括】

「郵趣」を広く浸透させて社会に貢献するという公益財団法人発足当初の「志」を思い起して、2014年度は当協会の運営に携わる理事を先頭に、各地方本部役員、委員会、運営協議会の各委員が一体となって各事業に取り組んだ。この結果、2014年度当初は2,000万円を越えるマイナス予算でスタートせざるを得なかったが、事業の拡大、経費の圧縮等により4期振りに黒字決算で終えることができた。

維持会員、正会員は2003年4月から11年間、普通会員は1994年から20年間据え置いてきた年会費は、2014年度から維持会員24,000円を26,000円に、正会員12,000円を13,000円に、普通会員6,000円を7,000円に改定した。「世界でも有数の郵趣団体」「日本で唯一の全国郵趣団体」に相応しい組織、事業の継続・発展を図るためにやむを得ない改定であり、大方の会員の理解を得られたと信じている。

普及啓発事業では、第32回全国郵趣大会を9月に広島市で開催、充実した分科会は今後の指針を示すものとなった。

展覧会事業の大きな柱である第38回〈スタンプショウ2014〉は、「切手の世界で、あなたもスターに!」を開催テーマに楽しみながら知ることのできる展覧会として、第49回全国切手展〈JAPEX2014〉は、「世界とつながる 知識が広がる」を開催テーマに研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、それぞれ4月、10月に都立産業会館浜松町館で開催し、展示、イベント、ブース、参観ともに盛況に終えることができた。今後とも両展覧会の趣旨をはっきり区別し、それぞれの収集に応じた出品、協力を呼びかけていく。また2015年に第50回を数える全国切手展〈JAPEX2015〉の準備作業に着手、数年をかけて展示フレームの補修整備を進める検討も始めた。

出版事業では、『ビジュアル日本切手カタログ』シリーズ第3弾「年賀・グリーティング切手編」を刊行、第4弾「普通切手編」の刊行準備作業を進めた。機関誌『郵趣』は、ベテランから入門者まで全ての層が満足できる内容を求め、常に改善が必要であることを念頭に置いて、より切手の魅力、素晴らしさを伝える誌面作りに努めた。

黒字決算となった要因は、流通促進事業（消費税増税に伴う手数料改定、総落札高の目標達成率135%）、社会貢献・地域支援事業（事業収益の前年度対比263%）、展覧会事業（記念品収入の同142%）の3点に集約されるが、高齢化・死亡、郵趣離れによる会員の減少が続いており、2015年度はさらに会費収入が減少する見通しである。このため会員増強の取り組みを第一に、さらなる事業の見直しと効率化を行い支出削減に努めるとともに、流通促進事業のさらなる活性化、サポート企業・団体の協賛金等により収入財源の確保・拡大を通して財政基盤の安定化を図っていく。

5年後の2020年には東京五輪・パラリンピックが開催され、翌2021年には日本郵便創業150周年、日本郵趣協会が任意団体として発足してから75周年を迎える。この2カ年を目標に、2015年度に全員改選される理事、評議員を先頭に論議を深め、引き続きさまざまな事業展開に全力を注いでいく。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する意匠、歴史、データ並びに郵便制度の研究に関して質の良い情報を広く社会一般に積極的に提供し、郵便切手文化を未来に継承するため普及啓発を図った。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、「全国ミニ切手展」を732カ所(前年度852カ所)で開催した。実施テーマにあたっては、地域特性を生かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努めた。

(2) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる「切手オリエンテーション」を開催した。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容を選定し、文化活動の普及啓発に努めた。

①講座名「郵趣入門コース」

広く一般を対象にして、全5回のカリキュラムで「郵趣入門コース」を実施し、受講完了者には修了証を授与した。講座は切手の博物館(豊島区)において開催し、最終回は「スタンプショウ2015」展覧会会場で実施した。

[第1回] 講座テーマ「切手など郵趣品の話」、開催日：6月14日(土)、参加者：5名。

[第2回] 講座テーマ「切手など郵趣品の集め方」開催日：9月20日(土)、参加者：7名。

[第3回] 講座テーマ「リーフ作成ガイド」、開催日：11月15日(土)、参加者：6名。

[第4回] 講座テーマ「マイ・リーフ作成」、開催日：2015年1月17日(土)、参加者：5名。

[補講] 講座テーマ「マイ・リーフ作成」、開催日：2015年3月28日(土)、参加者：5名。

会場(いずれも)：切手の博物館(豊島区)。

[第5回] 講座テーマ「マイ・リーフ展示と展示作品鑑賞」、開催日：2015年4月25日(土)、参加者数：6名、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②ジュニア・切手オリエンテーション

主に小学生4年生～6年生の児童を対象にして、郵便切手の基礎知識から「切手収集してみよう」までの流れを、わかりやすく体験しながら学んでもらった。

[第1回] 開催日：5月17日(土)、参加者：8名。

[第2回] 開催日：7月19日(土)、参加者：2名、会場(いずれも)：切手の博物館(豊島区)。

③キッズ・切手オリエンテーション

主に小学生1年生～3年生の児童を対象にして、郵便切手に関するはじめの一步を楽しく、わかりやすく体験しながら学んでもらった。

A. 夏休みキッズ・切手オリエンテーション

開催日：8月2日(土)、参加者：8名、会場：切手の博物館(豊島区)。

B. 春休みキッズ・切手オリエンテーション

開催日：2015年3月28日(土)、参加者：10名、会場：切手の博物館(豊島区)。

(3) 初心者向けガイドブック

郵便切手文化の歴史、郵便切手類の整理・保管からアルバム・リーフの作り方までをわかりやすく説明した、広く一般の人々を対象にした初心者向け簡易ガイドブック「郵趣スタートガイド」を作成

し、〈スタンプショウ2014〉会場でアンケート回答者への配布及び「切手オリエンテーション」で活用した。

(4) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な図書を広く図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の普及・発展に寄与した。

①『切手画家・木村勝の遺した資料 戦後切手1946～1961』：34冊

②郵趣モノグラフ20『わたくしの収集遍歴 外信用はがき収集60年』：14冊

③郵趣モノグラフ21『図解:世界の切手印刷～切手に見る驚きの特殊印刷技術』：89冊

(5) ホームページ及びソーシャルメディアの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、最新の日本切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウムなどに関する情報をホームページにより適時掲載し、広く社会一般に公開、提供した。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信に努めた。さらに、公式フェイスブック「kitte」、公式ツイッター「kitte club」などソーシャルメディア(SNS)を活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図るとともに、新規メディアとして「LINE」パブリックアカウント「KITTE」を取得して開設した。

ホームページ/総セッション：939,964件(前年度878,210件)、フェイスブック/いいね！：1,519件(同642件)、ツイッター/フォロワー：12,420名(同2,984名)、LINE/有効友だち：253名。

(6) 第32回全国郵趣大会in広島

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催した。併せて、郵趣の普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者の顕彰、学術調査研究発表などの大会式典を実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催した。

会期：9月27日(土)～9月28日(日)、会場：メルパルク広島(広島市)、参加者：97名(前年度116名)。内容：記念式典、テーブルバザール11店15テーブル(同9店9テーブル)、記念パーティ参加者：77名(同90名)。後援：日本郵便(株)中国支社、広島中郵便局、(公財)広島観光コンベンションビューロー。

(7) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、国民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①新潟県郵趣の集い2014in長岡(第20回)

会期：6月15日(日)、会場：アトリウム長岡[新潟県教職員互助会館](新潟県長岡市)、参加者：26名(前年度35名)。主催：中部地方本部、長岡支部

②岡山切手のつどい2014

会期：6月29日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山県岡山市)、参加者：60名(同48名)。主催：中国・四国地方本部、岡山支部

③筑後地方切手のつどい2014(第16回)

会期：7月27日(日)、会場：小郡市生涯学習センター「七夕ホール」(福岡県小郡市)、参加者：60名(同70名)。主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

④静岡県郵趣の集い2014in御殿場

会期：8月31日(土)～9月1日(日)、会場：ろうきん研修所富士センター(静岡県駿東郡)、参加者：

33名(同40名)。主催：中部地方本部、御殿場支部

⑤広島切手のフリーマーケット2014(第12回)

会期：10月26日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者：80名(同90名)。主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

⑥北九州切手のつどい2015

会期：2015年2月15日(日)、会場：アジア太平洋インポートマート[AIM](北九州市)、参加者：60名(同70名)。主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：日本郵便(株)北九州郵便局、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会。

⑦広島切手のつどい2015

会期：2015年2月22日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者：110名(同70名)。主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。郵便切手文化の独自性と希少性を確立することで、出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を実施企画することによりPR効果を高め、集客の増加を図った。また、積極的に企業・団体との協働プロジェクトを推進していき、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応えた。

(1) 全国規模の展覧会

①第38回<スタンプショウ2014>

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、主要ターゲットを20代後半から50代前半の女性とした企画展示「宝塚歌劇100周年切手展」、「くまもと切手展」の開催、第3回フリースタイル・ワンフレーム展、第15回トピカル切手展の作品を公募した。また、サポート・パートナー企業を協働して、企画イベントの実施、広報の周知を図った。

開催テーマ：「切手の世界で、あなたもスターに!」、会期：4月25日(金)～4月27日(日)、会場：東京都立産業貿易センター浜松町館(港区)、来場者：7,500名(前年度12,000名)、主催：(公財)日本郵趣協会、後援：(公財)通信文化協会、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)不二家、(株)伊藤園、(株)鼓月、旭化成ホームズ(株)、(特非)里山保全再生ネットワーク、(株)ながとも、錦明印刷(株)、協力：宝塚歌劇団、(株)宝塚舞台、凸版印刷(株)

企画展示：「宝塚歌劇100周年切手展」：(1)切手ができあがるまで(分色及び刷版)、(2)切手原画コーナー、(3)歴代スター写真コーナー、(4)宝塚歌劇100年の歴史コーナー、(5)宝塚歌劇お宝グッズコーナー(1作品40リーフ)、「くまもと切手展」：8作品12フレーム、第3回フリースタイル・ワンフレーム展：28作品(前年度20作品)、第15回トピカル切手展：40作品127フレーム(同39作品97フレーム)、海外郵政ブース：3カ国(チェコ、オランダ、スイス)、切手商ブース：32店43.5ブース(同32店46ブース)。

②第39回<スタンプショウ2015>(準備作業)

<スタンプショウ2015>実行委員会(実行委員長：金川博史)を組成し、企画展示「切手デザイナーの世界展2015」「チェコ・チェコ切手展」、特別展示「RAILPEX in 浅草」及び企画イベントの実施計画について運営準備を進めるとともに、協力いただける企業・団体の協賛を募った。

開催テーマ：「つながる想い つながる切手」、会期：2015年4月24日(金)～4月26日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、主催：(公財)日本郵趣協会、特別協賛：日本郵便(株)、

協賛：(株)伊藤園、えにし書房(株)、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)八丁幸、富士急行(株)、(株)不二家、協力：国立印刷局お札と切手の博物館、切手の博物館、郵政博物館、岩倉高等学校、昭和鉄道高等学校。

③「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2014」

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門・風景印部門)を公募した。文化・歴史・自然等について知識・研究を深めてもらうことで、郵便切手文化の普及を図るとともに、夏休みの自由課題として取り組んでもらえるように周知に努めた。

会期：8月20日(水)～8月24日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、主催：(公財)日本郵趣協会、後援：文部科学省、豊島区教育委員会、読売KODOMO新聞、(公財)通信文化協会、協賛：日本郵便(株)、ポスタルスクウェア(株)、(株)不二家、(株)ジャパンビバレッジ東京、(株)デザート、富士急行(株)。

応募作品：切手部門：40作品(前年度41作品)、風景印部門：173作品(同81作品)。表彰式は8月24日(日)に切手の博物館(豊島区)において実施するとともに、優れた作品にグランプリ及び特別賞(5協賛企業・団体)を授与した。

※本事業は、日本郵便(株)の年賀寄付金配分事業として実施した。

④第49回全国切手展<JAPEX2014>

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「日本の記念切手発行120年切手展」、「日本・スイス国交樹立150周年記念スイス切手展」、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。併せて、公式ガイドブック、コレクション集CD及び記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

開催テーマ：「世界とつながる 知識が広がる」、会期：10月31日(金)～11月2日(日)、会場：東京都立産業貿易センター浜松町館(港区)、入場者：4,700名(前年度4,600名)、主催：(公財)日本郵趣協会、後援：外務省、在日スイス大使館、スイス政府観光局、スイスインターナショナルエアラインズ、(公財)通信文化協会、協賛：日本郵便(株)、(株)日本郵趣出版、(株)鼓月、(特非)里山保全再生ネットワーク、(株)ながとも、富士急行(株)、東海汽船(株)、えにし書房(株)、(株)伊藤園。

企画出品：「日本の記念切手発行120年切手展」16作品68フレーム、「日本・スイス国交樹立150周年記念スイス切手展」6作品23フレーム、競争出品：124作品396フレーム(前年度132作品380フレーム)、海外郵政ブース：3カ国(スイス、フィンランド、スロベニア)、切手商ブース：32店41ブース(同32店42ブース)。

⑤第50回全国切手展<JAPEX2015> (準備作業)

日本で初めて公募による本格的な切手展として1966年に開催された<JAPEX>は、2015年に第50回を祝う記念の年を迎える。これを記念して、郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させていくため、企画出品「年賀郵便展」、「ペニーブラック175周年記念 イギリス切手展」、「<JAPEX>50年の歩み」、及び記念イベントの実施計画について運営準備を進めた。

開催テーマ：「切手と歩んで50年 未来へつなごう郵便文化」、会期：2015年10月30日(金)～11月1日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、主催：(公財)日本郵趣協会、後援：外務省、駐日英国大使館、英国政府観光庁、在日英国商工会議所、(公財)通信文化協会[以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)ながとも、(株)

日本郵趣出版、(株)東京洋紙店 [以上予定]。

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2014(第5回)

会期：4月26日(土)～4月27日(日)、会場：アイパル香川(香川県高松市)、来場者：120名(前年度130名)、主催：中国・四国地方本部、高松支部。企画イベント：切手なんでも相談室、紙付切手の山崩し。

②第5回楽しい切手展in横浜

会期：5月3日(土・祝)～5月4日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、来場者：405名(同230名)、主催：関東地方本部、横浜支部、横浜旭郵趣会、湘南郵趣の会、相模原支部、後援：日本郵便(株)南関東支社、神奈川新聞社。企画イベント：風景印記念講演、体験ワークショップ「切手はり絵」。

③スタンプショウ=ヒロシマ2014(第31回)

会期：5月10日(土)～5月11日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、来場者：800名(同800名)、切手商ブース：7ブース(同6ブース)、主催：中国・四国地方本部、くスタンプショウ=ヒロシマ2014実行委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社、企画イベント：紙付切手掘り出し市、ミニ切手教室、切手なんでも鑑定団、切手相談コーナー。

④スタンプショウくだまつ2014

会期：6月14日(土)～6月15日(日)、会場：スターピアくだまつ(山口県下松市)、来場者：260名(同250名)、切手商ブース：2ブース(同2ブース)、主催：中国・四国地方本部、周南支部、後援：日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社。企画イベント：切手面白クイズ。

⑤大阪切手まつり2014(第16回)

会期：7月21日(月・祝)、会場：味覚糖UHA館(大阪市)、来場者：480名(同500名)、切手商ブース：7ブース(同6ブース)、主催：関西地方本部。

⑥スタンプショウふくやま2014(第35回)

会期：8月23日(土)～8月24日(日)、会場：まなびの館ローズコム(広島県福山市)、来場者：100名(同100名)、切手商ブース：1ブース(同1ブース)、主催：中国・四国地方本部、福山支部、後援：日本郵便(株)中国支社、中国新聞社。企画イベント：切手収集なんでも鑑定。

⑦彩PEX2014(第15回)

会期：9月13日(土)～9月22日(祝・月)、会場：アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、来場者：640名(同640名)、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉県郵趣連合。

⑧中部スタンプショウ2014 in名古屋(第13回)

会期：10月4日(土)～10月5日(日)、会場：尾張一宮駅前ビル(愛知県一宮市)、来場者：280名(同500名)、テーブルバザール：6ブース、主催：中部地方本部、名古屋支部、後援：日本郵便(株)東海支社。企画イベント：講演会、オークション。

⑨スタンプショウかごしま2014(第17回)

会期：10月4日(土)～10月5日(日)、会場：KKR鹿児島敬天閣(鹿児島市)、来場者：200名(同200名)、切手商ブース：3ブース(同4ブース)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援：日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、南日本放送、鹿児島テレビ放送、鹿児島読売テレビ、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム、企画イベント：切手のつかみ取り、切手収

集相談、切手の無料鑑定会。

⑩大阪秋の切手展2014in京セラドーム大阪(第2回)

会期：10月11日(土)～10月12日(日)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、来場者：630名(同550名)、切手商ブース：4ブース(同6ブース)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社。

⑪スタンプショウはかた2014(第25回)&第32回全九州ジュニア切手展

会期：10月18日(土)～10月19日(日)、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市博多区)、来場者：300名(同180名)、切手商ブース：5ブース(同5ブース)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、KBC九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社、特別展示：「新昭和切手」「切手趣味週間」。

⑫スタンプショウこうち2014(第19回)

会期：11月8日(土)～11月9日(日)、会場：イオンモール高知「イオンモール」(高知市)、来場者：800名(同1,000名)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウこうち2014実行委員会、後援：日本郵便(株)高知中央郵便局、NHK高知放送局、高知新聞社、KUTV高知放送、KSSさんさんテレビ、RKC高知放送。企画イベント：切手で遊ぼう!楽しい親子の切手工作教室、切手のフリーマーケット。

⑬関西スタンプショウ2015(第28回)

会期：2015年3月28日(土)～3月29日(日)、会場：大阪マーチャンダイズ・マートビル[OMMビル](大阪市)、来場者：750名(同650名)、切手商ブース：9ブース(同8ブース)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社、関西郵趣連盟。企画展示：テーマ「昭和」。

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、出品公募前に出品物の添削・助言などを行い、審査結果発表後には出品者への助言の機会を設けた。

①<JAPEX2014>ルールブック」(<JAPEX2014>開催概要、<JAPEX2014>特別規則、<JAPEX>一般規則、<JAPEX>審査基準、<JAPEX>出品に関するQ&A等)を作成発行し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

②出品コンサルティングの実施

会期：6月28日(土)～6月29日(日)、会場：登録審査員による切手展2014 [切手の博物館(豊島区)]及び当協会事務局で随時対面。利用者：延べ16名(前年度20名)。

③審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

実施日：11月2日(日)、会場：第49回全国切手展<JAPEX2014> [東京都立産業貿易センター浜松町館(港区)]、参加者：30名(同41名)。

(4) 展示備品の整備

展覧会を安定的に開催して郵便切手文化の振興を図るため、所有する展示フレーム及び展示什器の補修整備を進めるとともに、所有する展示フレームの外部貸出を次のように行った。

展覧会名称：全日本切手展2014、会期：8月1日(金)～8月3日(日)、会場：すみだ産業会館(墨田区)、主催：(公財)通信文化協会、日本郵趣連合、全日本切手展2014実行委員会
貸出展示備品：展示フレーム130台(260フレーム)

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 郵趣書籍及び研究報告書

- ①『風景スタンプ集2011-2013』(4月20日刊行)
- ②『日本軍事郵便史 1894-1921』(5月25日刊行)
- ③『切手画家・木村勝が遺した資料 戦後切手1962-1984』(10月25日刊行)
- ④『第49回全国切手展<JAPEX2014>コレクション集CD』(12月25日刊行)
- ⑤<JAPEX2014>記念出版『戦前戦後の記念切手』(2015年3月25日刊行)
- ⑥郵趣モノグラフ22『第1次国立公園切手の体系的収集』(9月25日刊行)

(2) 定期刊行物

- ①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行
- ②インターネット版『世界新切手ニュース』月刊/12回発行
- ③情報速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行
- ④郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行

(3) 切手カタログ

- ①『さくら日本切手カタログ2015』(4月20日刊行)
- ②『ビジュアル日本切手カタログVol.3 年賀・グリーティング切手編』(10月25日刊行)
- ③『新中国切手カタログ2015』(12月25日刊行)
- ④『ビジュアル日本切手カタログVol.4 普通切手編』(刊行準備作業)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、文化シンポジウム、研究発表会を開催し、知的情報の公開・周知を図った。

(1) 部会・例会

専門分野ごとの共通テーマを中心に学術調査研究を深める場として、全国規模の組織として多角的な研究を行う部会、地域規模の組織として研究情報交換を行う例会を設置し、計22グループが延べ223回の会合を開催した。参加者：延べ1,687名。

(2) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出した。

①会期：4月25日(金)～4月27日(日)、会場：第38回<スタンプショウ2014> [東京都立産業貿易センター浜松町館(港区)]。

- A. トークショー「宝塚歌劇と郵便文化」(ゲスト：遠野あすか氏)、聴講者50名。
- B. トークショー「切手デザインに秘めた想い」(ゲスト：中丸ひとみ氏)、聴講者100名。
- C. 講演会「故宮100選 故宮切手の楽しみ方」(講師：福井和雄理事長)、聴講者30名。
- D. 実践講座「パソコンで作るアルバムリーフ作り」(講師：江村清氏、中野晶氏)、聴講者30名。
- E. 講演会「マッチングの妙と郵頼生活11日間の裏話」(講師：古沢保氏)、聴講者110名。
- F. 講演会「エア・切手収集のススメとは?!」(講師：板橋祐己氏)、聴講者30名。

②会期：9月27日(土)、会場：第32回全国郵趣大会 [メルパルク広島(広島市)]。

- A. 講演会「第1次国立公園切手の魅力と楽しみ方」(講師：神宝浩氏)、聴講者70名。
- B. セミナー「アメリカ普通切手～外国切手のコレクションづくり」(講師：榎原晃二氏)、聴講者20名。
- C. セミナー「昭和切手」(講師：横矢仁氏)、聴講者20名。
- D. セミナー「記念カバー収集の新たな光」(講師：相山哲太郎氏)、聴講者20名。
- E. セミナー「戦後記念切手の目打バラエティ収集」(講師：永吉秀夫氏)、聴講者20名。

③会期：10月31日(金)～11月2日(日)、会場：第49回全国切手展<JAPEX2014> [東京都立産業貿易センター浜松町館(港区)]。

- A. トークショー「収集家として 切手商として」(ゲスト：高橋宣雄氏)、聴講者70名。
- B. 講演会「『日本軍事郵便史』の著者が軍事郵便の魅力について語ります」(講師：玉木淳一氏)、聴講者40名。
- C. 講演会「『ビジュアル世界切手国名事典』終わったから言える本音トーク?!」(講師：板橋祐己氏)、聴講者60名。
- D. パネルディスカッション「『切手を描き続けて47年』木村勝の偉業とその遺した資料」(パネリスト：斎享氏、吉田敬氏)、聴講者60名。
- E. 講演会「朝鮮戦争：ポスタルメディアから読み解く現代コリア史の原点」(講師：内藤陽介氏)、聴講者70名。
- F. トークショー「『切手の図案を巡る旅』の番外編！年賀・グリーティング切手の旅です」(ゲスト：田中敏彦氏)、聴講者40名。
- G. 講演会「第1次国立公園切手の一歩進んだ楽しみ方」(講師：神宝浩氏)、聴講者35名。
- H. 講演会「『印象派絵画切手』収集の楽しみ方」(講師：江村清氏)、聴講者30名。

(3) 専門分野の活動事例紹介

誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、全国規模の展覧会において各専門分野の研究活動事例を紹介した。

- ①4月25日(金)～4月27日(日)、東京都立産業貿易センター・浜松町館(港区)で開催した、第38回<スタンプショウ2014>会場において、12グループが部会紹介ブースを出展、6グループが切手の集いを開催し、日常の専門分野の活動事例を紹介した。
- ②10月31日(金)～11月2日(日)、東京都立産業貿易センター・浜松町館(港区)で開催した、第49回全国切手展<JAPEX2014>会場において、17グループが部会紹介ブースを出展、5グループが切手のつどいを開催し、日常の専門分野の活動事例を紹介した。

(4) 専門分野の研究発表会

展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において各専門分野の学術調査研究成果を<ミニペックス>と称して広く一般に発表・公開した。

- ①世界切手展金賞受賞記念 玉木淳一コレクション展
会期：4月18日(金)～4月20日(土)、来場者：300名、研究発表：玉木淳一副理事長
- ②第12回絵画切手部会展
会期：5月9日(金)～5月11日(日)、来場者：230名(前年度240名)、研究発表：絵画切手部会
- ③第29回昆虫切手展
会期：6月6日(金)～6月8日(日)、来場者：210名(同260名)、研究発表：昆虫切手部会
- ④2014イギリス切手部会展

- 会期：6月21日(土)～6月22日(日)、来場者：370名(同290名)、研究発表：イギリス切手部会
- ⑤登録審査員による切手展2014
- 会期：6月28日(土)～6月29日(日)、来場者：170名(同160名)、研究発表：エキスパート委員会
- ⑥アメリカ・リバティイー・シリーズ60年記念展 アメリカ切手展2014<america'14>
- 会期：7月9日(水)～7月13日(日)、来場者：250名(同250名)、研究発表：アメリカ切手部会
- ⑦JPS航空部会創立20周年記念 航空郵趣の世界展
- 会期：9月26日(金)～9月28日(日)、来場者：320名、研究発表：航空部会
- ⑧鉄道記念日記念鉄道切手展 RAILPEX2014
- 会期：10月14日(火)～10月18日(日)、来場者：460名、研究発表：鉄道切手部会
- ⑨リヒャルトシュトラウス生誕150年記念 音楽切手展
- 会期：11月15日(土)～11月16日(日)、来場者：350名(同270名)、研究発表：音楽切手部会
- ⑩第5回世界の植物切手展
- 会期：11月20日(木)～11月22日(土)、来場者：270名(同320名)、研究発表：植物切手部会
- ⑪第10回中国郵票展
- 会期：2015年1月24日(土)～1月25日(日)、来場者：160名(同210名)、研究発表：福井和雄理事長
- ⑫パソコン郵趣部会展2015
- 会期：2015年2月13日(金)～2月14日(土)、来場者：350名(同290名)、研究発表：パソコン郵趣部会
- ⑬菊・田沢MINIPEX2015
- 会期：2015年2月20日(金)～2月22日(日)、来場者：200名、研究発表：菊・田沢切手部会
- ⑭第7回聴覚障害者切手クラブ切手展
- 会期：2015年3月27日(金)～3月29日(日)、来場者：220名(同270名)、研究発表：聴覚障害者切手クラブ
- (5) 専門分野の研究発表会への助成
- 展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において開催される各専門分野の学術調査研究成果の発表・公開に対して、助成を行った。
- ①パナマ運河開通100年記念展
- 会期：5月1日(木)～5月6日(火・休)、来場者：120名、研究発表：太田隆啓氏
- ②第12回天野安治・魚木五夫郵趣展
- 会期：5月23日(金)～5月24日(土)、来場者：160名、研究発表：天野安治氏、魚木五夫氏
- ③郵楽百態 草加郵趣会切手展
- 会期：5月30日(金)～6月1日(日)、来場者：290名、研究発表：草加郵趣会
- ④第2回ヨーロッパ切手展 EUROPEX JAPAN 2014
- 会期：10月10日(金)～10月11日(土)、来場者：190名、研究発表：ヨーロッパ切手展実行委員会
- ⑤第11回震災切手と震災郵趣展
- 会期：10月24日(金)～10月26日(日)、来場者：130名、研究発表：震災切手研究会
- ⑥第10回変わり種切手展
- 会期：11月28日(金)～11月30日(日)、来場者：200名、研究発表：変わり種切手グループ
- ⑦第6回テーマティック出品者の会切手展

会期：2015年1月30日(金)～2月1日(日)、来場者：240名、研究発表：テーマティック出品者の会

⑧武蔵野地区合同切手展

会期：2015年2月6日(金)～2月8日(日)、来場者：240名、研究発表：三鷹支部、杉並支部(方寸会)

⑨アマオオイ王国の郵便展

会期：2015年2月28日(土)～3月1日(日)、来場者：290名、研究発表：エハガキ華(梶原華子氏)

⑩第6回世界の郵趣展

会期：2015年3月20日(金)～3月22日(日)、来場者：170名、研究発表：クラシックフィラテリー研究会

(6) 先進学術事例の調査研究と研究発表

各専門分野の先進学術事例を調査研究するため国際切手展への海外派遣を実施するとともに、この知見を相互に有効活用するため、定期刊行物における研究事例の紹介、カンファレンスを利用した研究討議を行った。

①国際切手展<PHILAKOREA2014>

8月7日(木)～8月12日(火)、COEX(韓国・ソウル)で開催された国際切手展<PHILAKOREA 2014>に審査員見習いとして1名を派遣。審査実務の研修及び、伝統郵趣部門の審査基準に関するセミナーを受講した。研修及び受講成果は、モニターによる会議資料の映し出し、ブレインストーミング等を取り入れた学術研究カンファレンスとして開催した。

②『郵趣研究(The Philatelic Studies)』

郵趣専門誌『郵趣研究』において、「初期の和文ローラー印」「斜古丹郵便局の使用例」「年賀機械印“松喰い鶴”の鏡字印」等を発表した。

(7) 研究資料の収集・公開

郵便切手文化に関する貴重な研究資料が拡散しないように幅広く収集・整理し、それを保存・公開することにより、社会一般の共有財産として次世代に継承した。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を実施した。

(1) 国際切手展における国際文化交流

①国際切手展<PHILAKOREA2014>への出品

8月7日(木)～8月12日(火)、COEX(韓国・ソウル)で開催された国際切手展<PHILAKOREA 2014>に「ビジュアル日本切手カタログvol.1,vol.2」を出品し、大銀賞を受賞。

②第29回アジア国際切手展<MALAYSIA2014>への出品

12月1日(月)～12月6日(土)、会場：クアラルンプール・コンベンションセンター(マレーシア・クアラルンプール)で開催された第29回アジア国際切手展<MALAYSIA2014>に「ビジュアル日本切手カタログvol.1,vol.2」を出品し、金銀賞を受賞。

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

①日韓フィラテリー・カンファレンス2014

8月7日(木)～8月12日(火)、COEX(韓国・ソウル)で開催された国際切手展<PHILAKOREA 2014>において研究発表会を実施するとともに、文化イベントとして<JAPAN POST>(日本郵便)

ブースの出展・運営を行い、記念押印サービス、海外文通の活動事例紹介を実施した。

※本事業は、(公財)日韓文化国際交流基金の助成事業として実施した。

②日本・スイス国交樹立150周年記念事業「スイス切手展」 150th Anniversary of Diplomatic Relations between Switzerland and Japan 「Swiss Stamp Exhibition」

10月31日(金)～11月2日(日)、東京都立産業貿易センター浜松町館(港区)で開催された第49回全国切手展「JAPEX2014」の企画出品として、スイスと日本の友好を深めるために、外務省、在日スイス大使館、スイス政府観光局、スイスインターナショナルエアラインズの後援により「日本・スイス国交樹立150周年記念スイス切手展」を開催するとともに、作品解説を実施した。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 公開入札制度「JPSオークション」

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図った。

①第492回 開催日：4月26日(土)、会場：東京都立産業貿易センター浜松町(港区)

②第493回 開催日：7月5日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③第494回 開催日：9月6日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

④第495回 開催日：11月1日(土)、会場：東京都立産業貿易センター浜松町(港区)

⑤第496回 開催日：2015年1月17日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

⑥第497回 開催日：2015年3月7日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

出品総数：7,344ロット(前年度8,124ロット)、落札総高：104,951千円(同79,748千円)。

(2) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止し、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性を拡大に努めた。

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第35回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長：福井和雄、委員：稲葉良一、魚木五夫、落合宙一、桑野博、下邑政弥、高野昇郎、松本純一)を設置し、4月27日(金)に選考委員会を開催し、受賞者に高橋宣雄氏を決定した。

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長：福井和雄、委員：浅見啓明、落合宙一、後藤茂、玉木淳一)を設置し、6月21日(土)に選考委員会を開催し、該当者なしと決定した。

③第34回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の選考委員会を設置し、次のように決定した。

ア. 個人部門：春日一男氏、小泉文明氏、佐藤巖氏、中崎真司氏の4名

イ. 団体部門：〈スタンプショウ=ヒロシマ〉組織委員会、新潟県央支部の2団体

④第34回郵趣文献賞

同上の選考委員会を設置し、受賞文献に「図解：世界の切手印刷～切手に見る驚きの特殊印刷技術」（植村峻著）、「わたくしの収集遍歴 外信用はがき収集60年」（天野安治著）、「郵趣反古集」（澤まもる著）の3文献を決定した。

⑤第31回小倉謙賞

第49回全国切手展〈JAPEX2014〉審査員会の審査員で選考委員会（委員長：竹上幸浩）を設置し、11月1日（土）に選考委員会を開催し、受賞者に樋口豊氏「第三帝国の興亡」を決定した。

⑥第29回住野正顕賞

第49回全国切手展〈JAPEX2014〉審査員会の審査員で選考委員会（委員長：竹上幸浩）を設置し、11月1日（土）に選考委員会を開催し、該当作品なしと決定した。

(2) 授賞式

功労者の表彰は授賞式をもって行うとともに、選考委員及び選考結果は『郵趣』並びにホームページにおいて公開した。

①第35回中島健蔵・水原明窗記念賞

10月31日（金）、第49回全国切手展〈JAPEX2014〉において、授賞式及び記念トークショー「収集家として 切手商として」を公開で実施した。聴講者70名。

②第34回郵趣活動賞（個人部門、団体部門）、第34回郵趣文献賞

9月27日（土）、第32回全国郵趣大会in広島において受賞者を発表するとともに、第34回郵趣活動賞（個人部門、団体部門）及び第34回郵趣文献賞の授賞式を公開で実施した。

③第31回小倉謙賞

11月2日（日）、第49回全国切手展〈JAPEX2014〉の表彰式において受賞者を発表するとともに、第31回小倉謙賞の授賞式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに潤いのある社会形成を推進するため、パートナー企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2014」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指していくため、日本郵便（株）をはじめとしたサポート企業・団体の協賛を得て実施した。

①体験ワークショップ「手紙を書いてみよう」

ア. 会期：4月25日（金）～4月27日（日）、会場：東京都立産業貿易センター浜松町館（港区）

イ. 会期：8月20日（水）～8月24日（日）、会場：切手の博物館（豊島区）

延べ参加者：約400名。

②未来への手紙（タイムカプセル郵便）

募集期間：4月1日（火）～2015年3月31日（火）〔通年〕、引受通数：498通（前年度148通）、協賛：

日本郵便(株)

③愛の手紙 (セント・ヴァレンタイン・リターンメール)

募集期間：4月1日(火)～2015年3月31日(火) [通年]、引受通数：181通(同109通)、協賛：日本郵便(株)、協力：フランス郵政、セント・ヴァレンタイン郵便局、切手の博物館

④贈って楽しい、もらって嬉しい 風景印・記念印

ア. 会期：4月25日(金)～4月27日(日)、会場：東京都立産業貿易センター浜松町館(港区)

イ. 会期：8月20日(水)～8月24日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)

ウ. 会期：10月31日(金)～11月2日(日)、会場：東京都立産業貿易センター浜松町館(港区)

利用者：約1,500名。

(2) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応えた。

①青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との連携

『Letter Park』(発行：日本郵便(株))の紙面を通じて、「手紙を書こう！プロジェクト」の施策の周知、展覧会等の開催周知の連携を図った。

②「手紙の書き方体験事業」支援の実施

日本郵便(株)主催の「手紙の書き方体験事業」に講師の派遣をするとともに、郵便切手類の展示・解説及び参加記念品として使用済切手の提供などを行った。

③分冊百科『世界の切手コレクション』の出版

『世界の切手コレクション』(発行：アシェット・コレクションズ・ジャパン(株))の監修及び切手等の図版提供を行った。

④「メッセージフェスタ2014 in KITTE」の開催

日本郵便(株)主催の「メッセージフェスタ2014 in KITTE」(会期：10月11日(土)～10月13日(月)、会場：JPタワー・KITTE)にブース出展し、「未来への手紙」「愛の手紙」の周知及び受付とムーミン・ポストオフィスの運営を行った。

(3) 登録支部・団体との協働

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体との連携を深め、各地域における自主的活動や特性を發揮しながら、効果的な事業が推進できるように支援した。登録支部・団体：100(前年度101)。

①地域活動の活性化への支援及び企画プログラムの提供

地域の郵趣活動を活性化させるため、企画プログラムの提供、講師の紹介などの支援を行った。

②地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

登録支部・団体が開催した延べ31回の展覧会及び3回の切手教室への助成を行った。

③郵便切手文化活動への広報協力

『郵趣(YUSHU)』及び協会ホームページにおいて、各地域のイベント情報を紹介した。

(4) 公益活動への支援

①(一財)切手の博物館主催の「切手バザール」(会期：4月5日～4月6日、5月17日～5月18日、7月5日～7月6日、8月30日～8月31日、10月4日～10月5日、11月8日～11月9日、2015年1月10日～1月11日、3月14日～3月15日、延べ8回、会場：切手の博物館)の開催を支援した。

②目白ロードレース実行委員会主催の第18回目白ロードレース(会期：2015年3月8日、会場：学習院キャンパス周辺)の開催に協賛した。

(5) ボランティアの募集

郵便切手文化に関する理解と関心を高めるとともにボランティア活動への市民参加の促進を図るため、当協会の公式ホームページをはじめ、ボランティア募集を掲載するWEBサイト4社に登録して体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

①4月25日(金)～4月27日(日)開催の第38回<スタンプショウ2014>に一般ボランティア22名の応募があり、延べ46名が運営ボランティアとして参加した。

②10月31日(金)～11月2日(日)開催の第49回全国切手展<JAPEX2014>に一般ボランティア12名の応募があり、延べ26名が運営ボランティアとして参加した。

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協力していただける企業・団体の募集、多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形で寄付を募った。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) サポート・パートナー企業・団体の募集

第38回<スタンプショウ2014>に対して10企業・団体(前年度14企業・団体)、「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2014」に対して7企業・団体(同7企業・団体)、第49回全国切手展<JAPEX2014>に対して9企業・団体(同8企業・団体)、「手紙を書こう!プロジェクト2014」に対して1企業・団体(同2企業・団体)から協賛、協力の支援を得た。

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

募集期間：2014年4月1日(火)～2015年3月31日(火)、協賛件数：1,030件(前年度815件)。

(3) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

募集期間：2014年4月1日(火)～2015年3月31日(火)、協賛者：10名、70,205円(前年度9名、46,600円)。

(4) <スタンプショウ2014>寄附金(特別寄附金)

募集期間：1月4日(土)～4月27日(日)、特別寄附金：17口(1口3万円)、一般寄附金：274口(1口4,000円)、協賛者：247名、1,632千円(前年度281名、1,514千円)。

(5) <JAPEX2014>寄附金(特別寄附金)

募集期間：7月1日(火)～11月2日(日)、特別寄附金：34口(1口3万円)、一般寄附金：670口(1口4,000円)、協賛者：592名、3,709千円(前年度644名、3,853千円)。

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図った。

(1) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを見直し、整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

(2) 会員の維持・拡大

①『郵趣』ダイジェスト版の作成、お試し入会キャンペーン、入会促進ダイレクトメール

『郵趣』ダイジェスト版を作成し、ホームページ、切手カタログ及び、4月25日(金)～4月27日(日)、東京都立産業貿易センター・浜松町館(港区)で開催した、第38回くスタンプショウ2014会場において、お試し入会キャンペーンを実施した。お試し入会者：33名(前年度238名)、新規入会者：1名(同13名)。

②移籍のお願いキャンペーン(普通会員から正会員、維持会員へ、正会員から維持会員への移籍)、維持促進及び再入会ダイレクトメール、会費自動引き落としの利用拡大の呼びかけを実施した。

普通会員から正会員への移籍者：7名、正会員から維持会員への移籍者：3名。

③『正会員会報』月刊/12回発行

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図った。

(1) 新春交歓会

①関西・新春交歓会

会期：2015年1月10日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者：49名(前年度41名)。

②東京・新春交歓会

会期：2015年1月17日(土)、会場：日比谷松本楼「ラウンジ目白倶楽部」(豊島区)、参加者：45名(同47名)。

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2014in郡山(第24回)

会期：6月7日(土)～6月8日(日)、会場：磐梯熱海温泉「清稜山倶楽部」(福島県郡山市)、参加者：60名(前年度65名)、主催：北海道・東北地方本部、郡山支部

②関東郵趣大会2014in土浦(第30回)

会期：6月22日(日)～6月23日(月)、会場：つくばグランドホテル(茨城県つくば市)、参加者：73名(同60名)、主催：関東地方本部、土浦支部

③北海道郵趣大会2014in北見(第24回)

会期：10月11日(土)～10月12日(日)、会場：ノーザンアークリゾートホテル(北見市)、参加者：54名(同57名)、切手商ブース：3ブース(前年度2ブース)、主催：北海道・東北地方本部、北見支部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

発行数：25,277枚、流通数：1,095枚(流通率4.3%)。